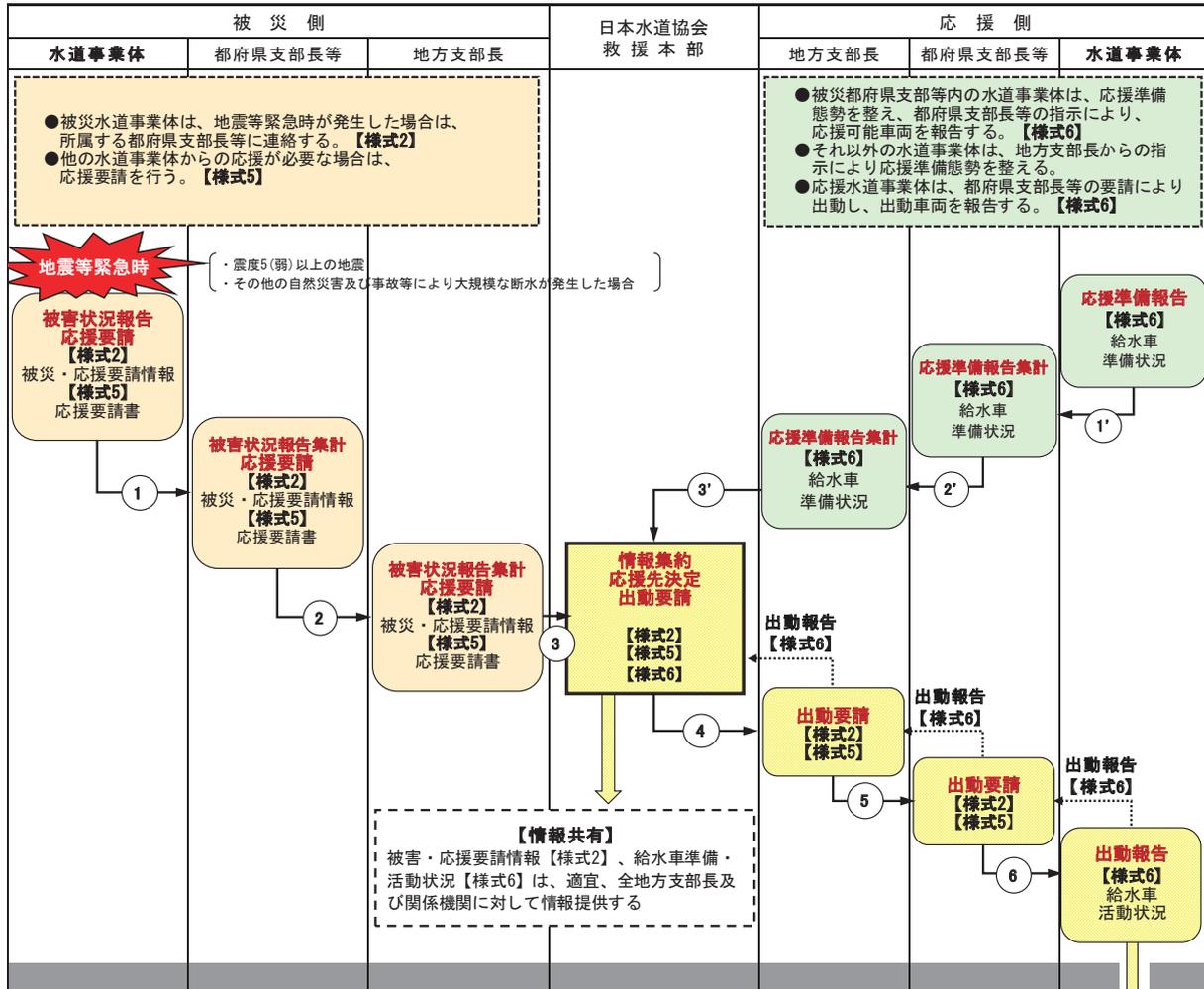


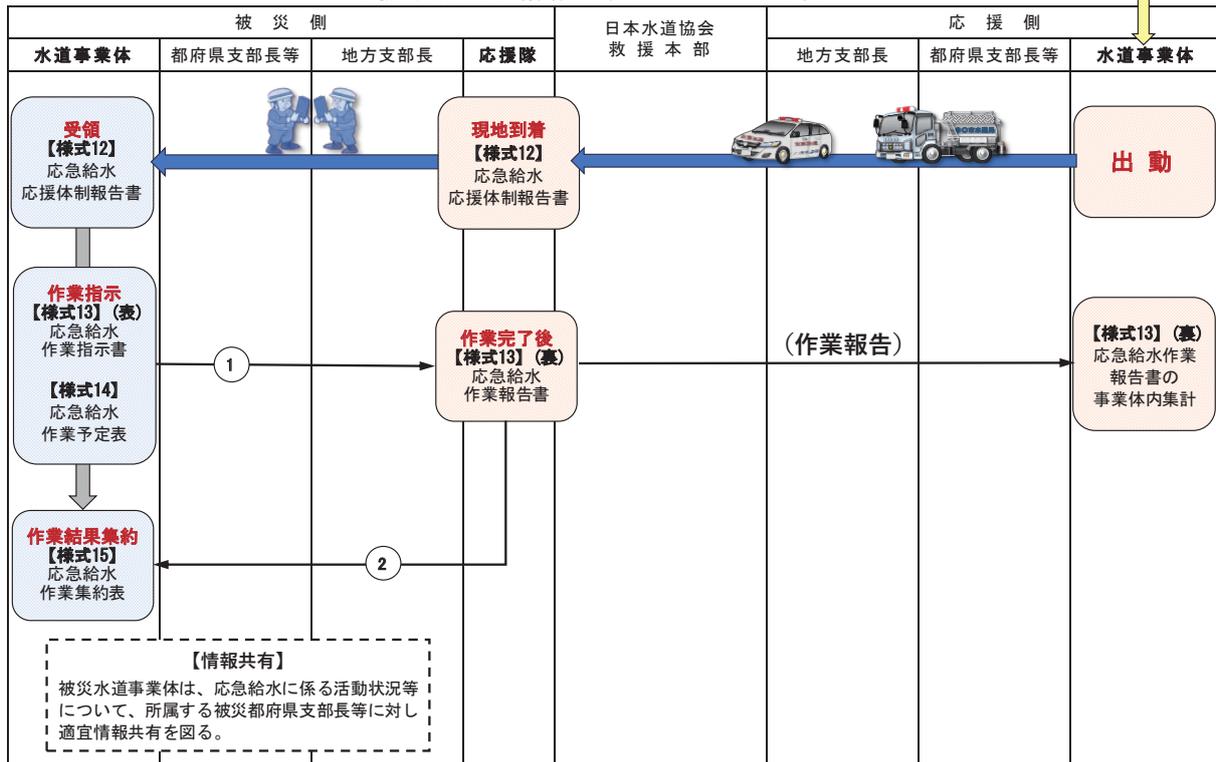
資料・様式・参考

資料 1

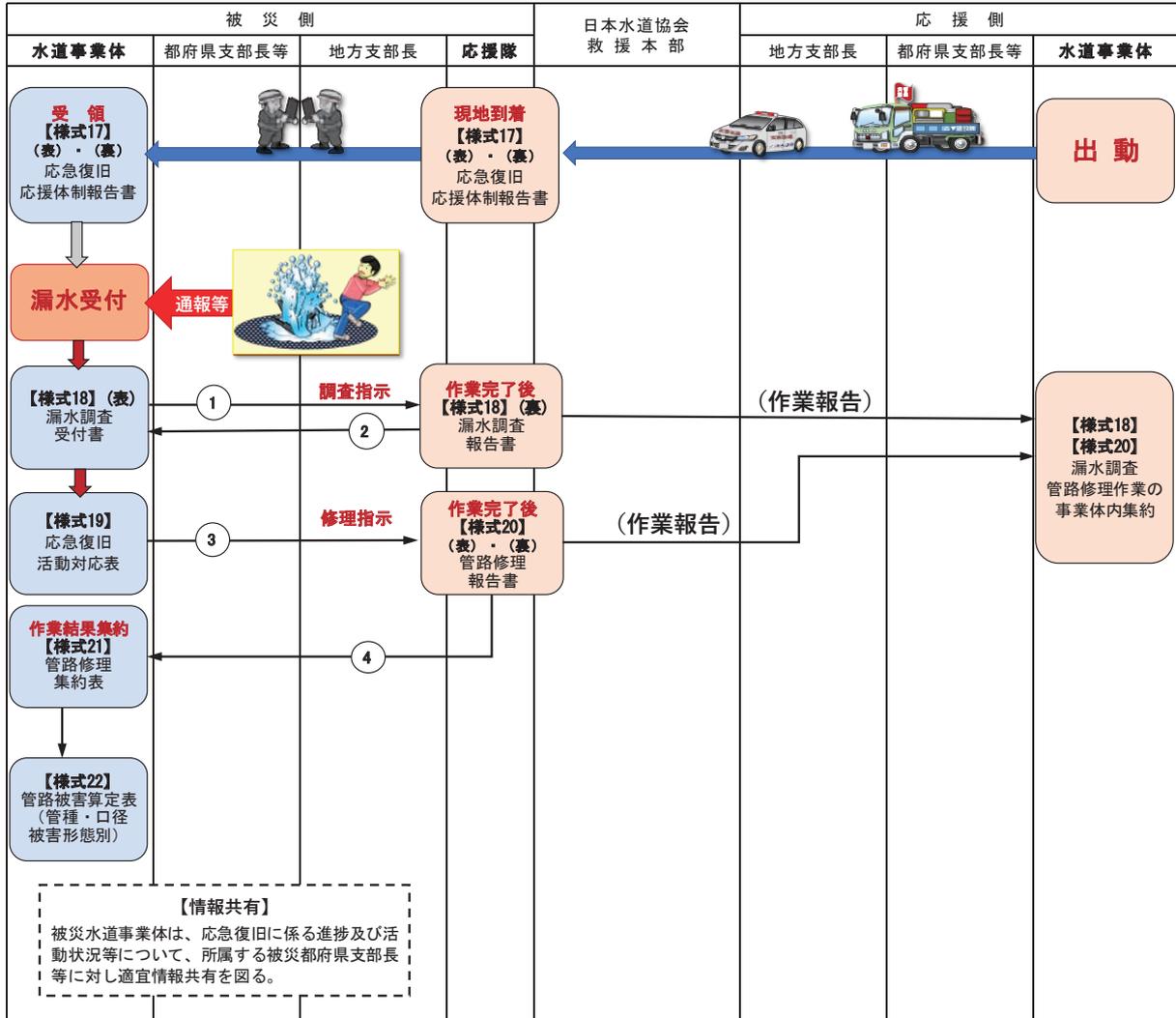
情報連絡・応援要請・出動フロー



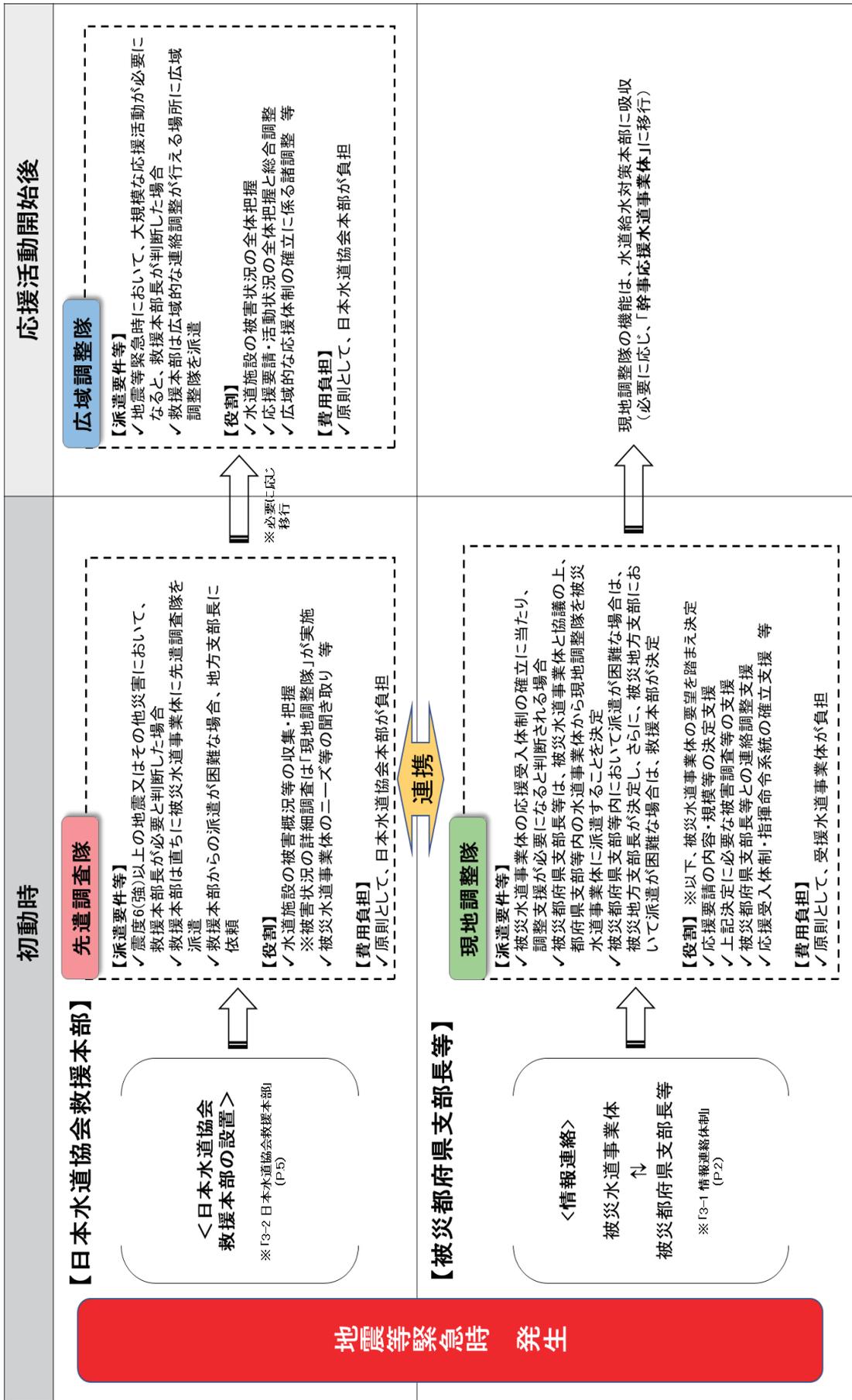
応援活動及び情報共有フロー（応急給水）



応援活動及び情報共有フロー（応急復旧）



資料 2



〇〇水道課 災害時対応確認シート【1】 【応急給水編】

①事業体概要

全給水人口 (人)	30,000
全給水戸数 (戸)	15,000
一日最大給水量 (m ³)	10,000
全職員数 (人)	12

災害発生

②災害概要

応急給水対象人数 (人)	30,000
断水戸数 (戸)	15,000
断水率 (%)	100
災害対応職員人数 (人)	8
職員参集率 (%)	70

③事業体基本情報

【応急給水拠点】

※必要に応じてセルを追加してご使用下さい。

施設名	住所	対象住民 (人)	応急給水方式	担当	備考
〇〇公園	〇〇町1234	1,000	耐震貯水槽	〇〇	(20m ³) 手動加圧式
△△公民館	△△町2345	500	仮設水槽	〇〇	(1m ³) 現地倉庫保管
⋮					

【給水基地】

施設名	住所	有効水量(m ³)	災害時確保水量(m ³)	担当	備考
〇〇配水池	〇〇町1234	10,000	2,000	〇〇	緊急遮断弁有り
⋮					

【緊急病院等重要施設】

施設名	住所	受水槽容量(m ³)	受水槽への給水	必要ホース長(m)	担当	備考
〇〇病院	〇〇町3456	100	加圧給水車	10	〇〇	自己水源有り
△△病院	△△町4567	70	無加圧給水車	5	〇〇	地下型受水槽
⋮						

【保有給水車両及び給水容器等】

車両・給水容器等	車番・仕様	数量	格納場所	担当	備考
加圧ポンプ付き給水車	12-34 2m ³	1台	〇〇車庫	〇〇	〇〇病院、△△病院へ給水
仮設水槽&土台	給水栓付き 1m ³	10基	各公民館倉庫	〇〇	〇〇組合による運搬給水
⋮					

②災害概要と③事業体基本情報を精査し、自事業者のみで対応が可能か判断する。対応が困難な場合は、早期に④具体的な応援要請を行う。

④具体的な応援要請

車両・給水容器等	仕様	数量	備考	応援依頼先
加圧ポンプ付き給水車	タンク容量1m ³ 以上	3台	□□病院他、6病院へ給水	日水協県支部長へ依頼
無加圧給水車	タンク容量1m ³ 以上	2台	〇〇公園、〇〇避難所で応急給水	日水協県支部長へ依頼
⋮				
仮設水槽&土台	給水栓付き 1m ³	5基	各中学校に臨時設置	都市間協定〇〇市

〇〇水道課 災害時対応確認シート【2】 【応急復旧編】

①事業体概要

全給水人口 (人)	30,000	一日最大給水量 (m ³)	10,000	導水・送水管総延長(m)	7,000
全給水戸数 (戸)	15,000	全職員数 (人)	12	配水管総延長(m)	180,000

災害発生

②災害概要

【施設被害状況】

※必要に応じてセルを追加してご使用下さい。

取水・導水施設		
施設名	被害の有無	備考
〇〇取水場	なし	自家発あり
〇〇ポンプ場	あり (停電)	自家発なし
⋮		
⋮		

浄水・配水施設		
施設名	被害の有無	備考
〇〇浄水場	なし	自家発あり
〇〇配水池	あり(亀裂：貯水不可)	緊急遮断弁あり
⋮		
⋮		

【管路被害状況】

区分	被害箇所	口径	管種	現場状況	担当	備考
導 ・ 送 水 管	〇〇系送水管 (〇〇町1234地先)	500	SP	添架部可撓管から漏水	〇〇	漏水区間をバルブ閉
	〇〇系送水管 (〇〇町1234地先)	350	不明	路面漏水3か所 (少量)	〇〇	漏水中 (安全対策済)
	⋮					
配 水 管	〇〇町1234地先	300	CIP	路面漏水 (多量)	〇〇	漏水区間をバルブ閉
	〇〇町2345 (〇〇橋添架)	250	SUS	橋脚ずれに伴う漏水	〇〇	漏水区間をバルブ閉
	⋮					

③施工対応可能な請負工事業者

会社名	施工可能業務	可能出動班数	連絡先	備考
〇〇管工	NS(φ700実績あり)GX	2班	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	土工は1班のみ
〇〇建設	GX(φ200実績あり), PE融着	1班	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	給水装置班は別班で計上
⋮				

②災害概要と③施工対応可能な請負工事業者を精査し、自事業者のみで対応が可能か判断する。対応が困難な場合は、早期に④具体的な応援要請を行う。

④具体的な応援要請

応援区分	班数	備考	応援依頼先
φ350仮配管布設 (1200m)	1班	露出可。管種検討も含む	日水協県支部長へ依頼
φ300～φ800 (DIP) の管路補修	5班	土工事も含む・補修材も依頼。	日水協県支部長へ依頼
技術支援 (破損した配水池の運用提案)	1班	補修or仮設配水池設置	日水協県支部長へ依頼
⋮			
漏水箇所の現地調査・報告	8班	班数分の車両とその人員要請	都市間協定〇〇市
小口径管路補修 (対象：DIP・VP)	2班	布設替の場合はGX、PE融着施工	都市間協定△△市

様式 1

〇〇〇支部災害時相互応援に関する協定

(趣 旨)

第1条 この協定は、地震、異常湧水等による水道災害において、日本水道協会〇〇県支部（以下「県支部」という。）が、被災都市が速やかに給水能力を回復できるように県支部会員（以下「各都市」という。）相互間で行う応援活動について、必要な事項を定める。

(組 織)

第2条 県支部内の各都市を〇〇、〇〇、〇〇・・・の〇ブロックに分け、各ブロックに代表都市を設置する。

2 県支部長都市（以下「県支部長」という。）に事務局を設置する。

(要請の方法)

第3条 応援要請の手順は、次の各号による。

- (1) 各会員は、ブロックで構成されている代表都市へ応援を要請する。
 - (2) 代表都市は、ブロック内の他の会員に応援を要請し、更に必要と認めるときは、地区ブロックの代表都市に応援を要請し、更に必要と認めるときは、県支部長へ応援を要請する。
 - (3) 県支部長は、県内の他の地区ブロックの代表都市に応援を要請し、更に必要と認めるときは、日本水道協会〇〇地方支部へ応援を要請する。
- 2 応援を要請するときは、次の事項を明らかにして、速やかに、口頭、電話又は無線等により行い、後日、様式により速やかに要請先まで提出する。
- (1) 災害の状況
 - (2) 必要とする資機材、物資等の品目及び数量
 - (3) 必要とする職員（応援要員）の職種別人数
 - (4) 応援の場所及び応援場所への経路
 - (5) 応援の期間
 - (6) 前各号に掲げるもののほか必要な事項（応援体制）

第4条 県支部内に災害が発生した場合は、県支部長の要請により、各都市は、被災都市の応急給水及び応急復旧等に全面的に協力する。

なお、日本水道協会〇〇地方支部から要請があった場合にも県支部長の要請に基づき応援協力する。

- 2 県支部長都市が被災した場合には、前条に規定するブロックで協議し、相互応援体制を確立する。

(応援内容)

第5条 各都市が行う応援活動は、おおむね次のとおり。

- (1) 応急給水活動
- (2) 応急復旧活動
- (3) 応急復旧用資機材の提供
- (4) 工事事業者の斡旋
- (5) 前各号に掲げるもののほか特に要請のあった事項

(応援要員の派遣)

第6条 前条により応援要請を受けた水道事業体は、直ちに応援体制を整え被災水道事業体に協力しなければならない。

- 2 応援要員を派遣するときは、被災状況に応じ給水用具、作業用工器具、衣類、食料その他日用品のほか野外で宿営できるようにテント、寝袋、懐中電灯、カメラ等を携帯させる。
- 3 派遣応援隊員は、被災都市の指示に従って作業に従事する。
- 4 派遣応援隊員は、応援水道事業体名を表示した腕章等を着用する。

(応援要員の受入)

第7条 応急給水作業及び応急復旧作業を迅速かつ適切に遂行できるようにするため、ブロックの代表都市は、応援要員の応援車両の集合場所等を指定する。

(費用負担)

第8条 この協定に基づく応援に要する費用は、法令その他別段の定めがあるもの及び応援要員に関わる人件費を除くほか、原則として被災会員が負担するものとする。

(補足)

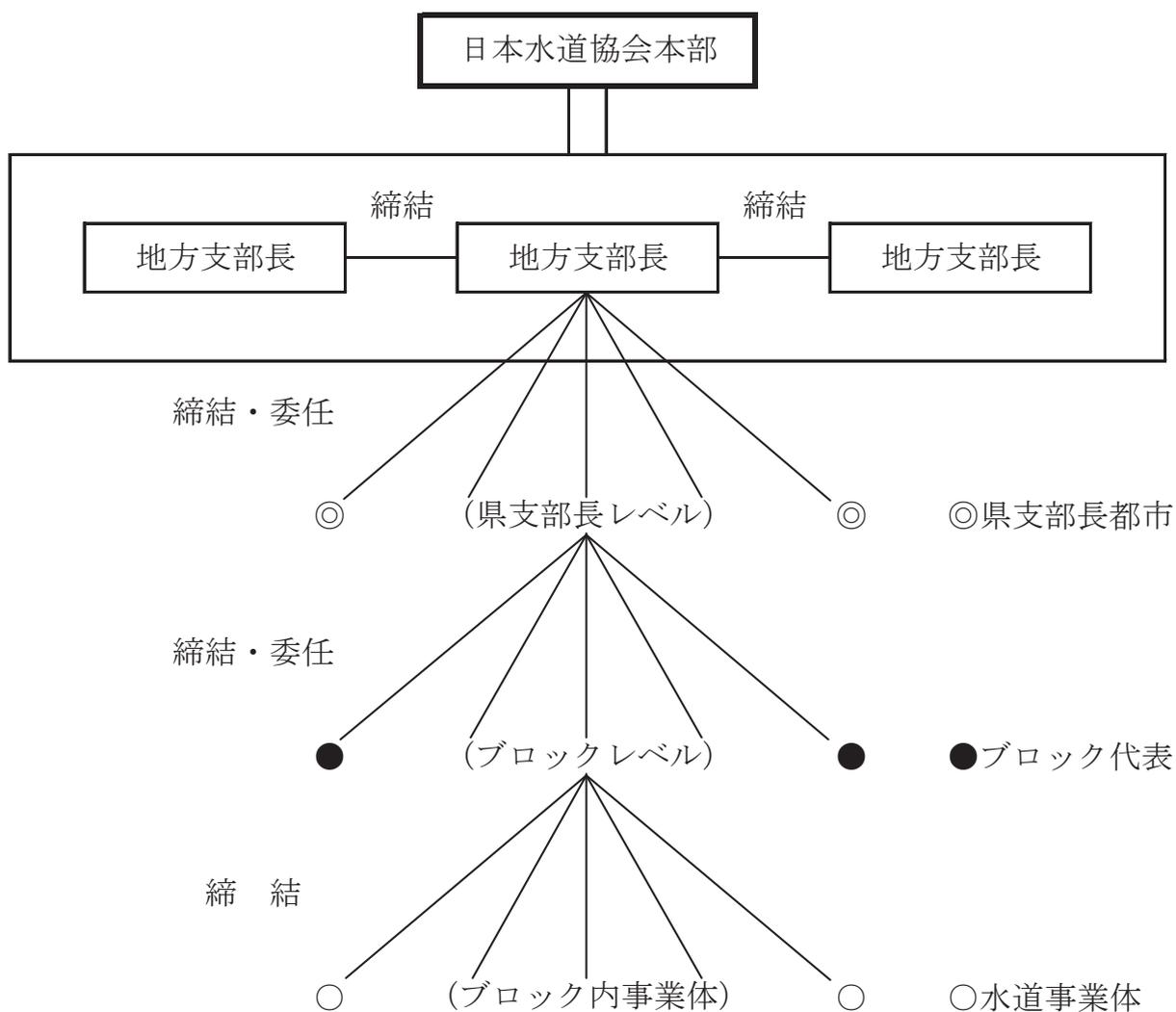
第9条 この協定に定めるもののほか必要な事項については、その都度、各ブロックの代表都市が協議して定める。

(適用)

第10条 この協定は令和〇〇年〇〇月〇〇日から適用する。

※地方支部で協定を締結する場合は、県支部長を地方支部長と読み替える。

第4条の日本水道協会〇〇地方支部を日本水道協会本部と読み替える。



様式2

被書・応援要請情報

報告種別	報告者	報告番号	報告日	報告時間
地方支部長⇒本部	〇〇地方支部	第〇報	7月1日	17:00

1. 基礎情報					2. 被害情報					3. 対応状況				
都道府県	確認状況	確認日時	事業者名	被害発生地区名	被害発生状況・原因	最大断水戸数	家屋等損壊地域における戸数	断水発生日時	今後の断水の発生・拡大見込み	⑩現在断水状況		⑪応急給水		
										復旧戸数	未復旧戸数	応急給水状況 (給水車対応、飲料水の配給等)	応援要請状況	要請先と応援状況
〇〇県	○	7月1日 15:00	A市	〇地区付近	浄水場が冠水 土砂崩れにより配水管が破損	40,000		6月25日 16:00		25,000	15,000	5地点の給水拠点に1tの給水タンクを設置し、9時～18時まで実施 応急給水車 10台により9時～18時まで実施 (直営1台、応援水道事業者3台) 応急給水車2台で病院と福祉施設に給水(自衛隊)	要請済み	合計 9台 日本水道協会 7台(■口市1、 口市3 ▲▲市3) 〇〇市(協定) 2台 自衛隊 2台
〇〇県	○	7月1日 15:00	B市	△地区付近	取水場が冠水し、機器が故障	7,000		6月25日 16:00		0	7,000	応急給水車4台により9時～18時まで実施 (直営1台、応援水道事業者3台)	要請済み	合計 3台 日本水道協会 2台(■口市及 口市) 1台 〇〇市(協定) 1台
			B市	X地区付近	水源に土砂が堆積し土砂崩れにより取水管が破損	100		6月25日 16:00		80		応急給水車1台により9時～18時まで実施 (直営1台)	不要	
△△県	○	7月1日 15:00	C町	●地区付近	土砂崩れにより配水管が破損一部地域で停電	2,000		6月25日 16:00		600	1,400	応急給水車3台により9時～18時まで実施 (直営1台、応援水道事業者2台) 応急給水車1台で病院と福祉施設に給水(自衛隊)	要請済み	合計 3台 日本水道協会 2台(▲▲市) 自衛隊 1台
合計	-		-	-	-	49,100	0	-	-	25,680	23,420	-	-	-

(次頁へ続く)

応援要請書【様式5】送付 1 枚 (内訳) A市

※本様式中1. 基礎情報～【3. 対応状況】は、厚生労働省が所定する報告様式に準じている(令和2年2月27日付け厚生水災0227第2号「自然災害発生時における被害状況の報告様式の改訂について」)。

このため、被災水道事業者は、本様式をもって都道府県水連行政担当部に報告することができる。

なお、これらの記載方法については、同通知を参照。

※被災水道事業者は、日本水協に対し【新規】又は【追加】で給水車の応援を要請する場合、「⑩給水車応援要請」に必要台数を記載する(既に一度要請を行った台数は重複した台数は重複しないこと)に留意(未到箇等の台数を含む)。

都道府県支部長等及び地方支部長は、それぞれの管内において応援可能な台数を「記入欄」に記載する。

日本水道協会教援本部は、他の地方支部からの応援可能な台数を「記入欄」に記載する。

様式2(続き)

3. 対応状況(続き)														
①応急復旧		③ 対応状況(続き)				【新築・追加対応(日水協)】								
①応急復旧状況 (系統変更、復旧工事等)	応援要請状況	要請先と対応状況	③復旧見込み	④課題	⑤漏水状況 (時間給水等)	⑥断減水 解消日時	①給水車 応援要請		応援可能台数					
							合計 台数	うち 要加圧 台数	都府県支那長 記入欄	地方支那長 記入欄	教養本部 記入欄	合計	うち 加圧	
							計	うち 加圧	計	うち 加圧	計	うち 加圧		
施設の被害状況を確認の上、点検・清掃、修理を行い、6/30に約50%の速水を再開【済】 浄水場と配水管の復旧作業を実施中	要請済み	日本水道協会の手配により、 ●〇市が浄水場の復旧計画作成を支援	7/9までに復旧予定				10	2	2	1	2	0	4	1
機器の交換作業を実施中	不要		7/9までに復旧予定				5	0	2	0	3	0	5	0
別系統からの給水を準備中 配水管の復旧作業を6/28から開始 水源の排他作業を本日から開始	不要		7/9までに復旧予定	80戸に対して22:00～6:00の時間帯は配水停止										
水道管の一部が復旧【済】 6/28から配水管の漏水調査及び復旧工事を 実施中	要請済み	日本水道協会の手配により、 ▲市と▲市が管路の応急復旧作業を支援	復旧した地区から、順次給水開始中	電源を確保したい			3	1	3	1			3	1
							18	3	7	2	5	0	0	0
														2

様式 3

令和 年 月 日

日本水道協会 救援本部の(設置・変更)について

各 位

日本水道協会救援本部

下記のとおり、日本水道協会 救援本部を（設置・変更）しましたのでお知らせします。

名 称： ●●地震日本水道協会救援本部

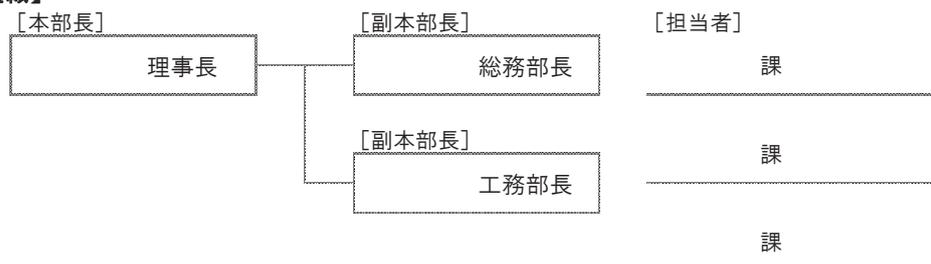
設置日時： 令和 年 月 日 時 分

設置場所： 東京都千代田区九段南4-8-9 日本水道協会 会議室

【連絡先体制】

対応時間	24時間体制 ※対応時間の縮小等がある場合には、改めてご連絡いたします。	
E-Mail	kyuenhonbu@jwwa.or.jp	
電話番号	日中:	03-3264-2359
	夜間:	同上 <small>※18時から8時まで</small>
FAX番号	03-3264-2359	

【組織】



【先遣調査隊】

○月○日 救援本部より○市水道局に向けて先遣調査隊を派遣しました。
現着は、○月○日○時頃を予定しています。

【備考】

様式 4

令和 年 月 日

現地調整隊の決定について

各 位

〇〇県支部

次のとおり決定したので、ご連絡いたします。

応援水道事業体 及び 連絡先	●市水道局 総務課 TEL *** - *** - ****	
応援期間	令和 ● 年 ● 月 ● 日 ~ 当面の間	
業務内容	応援受入体制の確立に係る各種調整支援	
人員	* 名	
役職・氏名	****	** **
	****	** **
	****	** **
連絡方法	電話番号	*** - *** - ****
	携帯	*** - **** - ****
備考		

様式 5

A市 第 ○ 報 ● 月 ● 日 ● 時 ● 分

応 援 要 請 書

発信元	〇〇県 A市水道局	発信者	××課 ××××
災害発生年月日	令和 ● 年 ● 月 ● 日 8 時 30 分		
災害状況	●●を震源とする地震発生。市内広域断水発生		

要 請 内 容			
	応急給水	応急復旧	その他
	給水車 10 台 (うち加圧 2 台)	応急復旧班 班	
期 間 (月 日～月 日)	7月2日 ～ 7月5日	～	～
特 記 事 項	物資(給水袋)、資機材、車両等を記入 ※1 給水車の要請に当たっては、車両の大きさ(制限があれば)・仮設水槽・給水袋等必要な情報を記載 ※2 技術系職員の要請に当たっては、応援希望職種(土木職、設備職、化学職等)等を必要な情報を記載		
集 合 場 所			
経 路 及 び 進 路 状 況	【例】県道○号線進入規制あり(緊急通行車両標章が必要)		
備 考	【使用例】 ※集合場所は、応援派遣決定後、応援部隊ごとに決定します。 応援決定の連絡は、防災担当(危機管理統括担当) 〇〇までお願いします。 電話 _____ FAX _____ Eメール: _____		

様式 6

給水車準備・活動状況

報告種別		報告者		報告番号		報告日		報告時間											
地方支部長⇒本部		東北地方支部		第2報		7月2日		9:00											
確認日時	月日	時刻	給水車			車両情報			活動状況	活動予定期間	携筆者(代表)				備考				
			車向登録番号	タンク容量	加圧	最大揚程	参考解線(省露可)	車向登録番号			地方支部	都府県支部等	都市	事業体名		氏名	連絡先電話番号	連絡先メールアドレス	
番号																			
1	7/1	19:00	02 東北	02 東北	02 東北	1234	3.0m ³	有	30m	2m ³ /h	即野オス(65)	03 関東	00 市	00 市	00 00	090-XXXX-XXXX	bcd-01@docomo.ne.jp		
2	7/1	18:00	02 東北	02 東北	02 東北	2345	2.0m ³	無				03 関東	00 市	00 市	00 00	090-XXXX-XXXX	bcd-02@docomo.ne.jp		
3	7/1	18:00	02 東北	02 東北	02 東北	3456	2.0m ³	有	30m	2m ³ /h	札幌オス(65)	03 関東	00 県	00 町	00 00	090-XXXX-XXXX	bcd-03@docomo.ne.jp		到着予定:3日15時
4	7/1	18:00	02 東北	△△ 県	02 東北	4567	2.0m ³	有				03 関東	00 町	00 町	00 00	090-XXXX-XXXX	bcd-04@docomo.ne.jp		到着予定:5日10時
5	7/2	8:00	02 東北	△△ 県	02 東北	5678	2.0m ³	有	25m	12m ³ /h	即野オス(65)								
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			

様式7

中継水道事業体使用可能施設報告書

都府県等支部名:

月 日 時 分 現在

使用 可・不可	会員名	施設名	住 所	アクセス		駐車場 24給水車 駐車可能 台数	施 設 概 要				連 絡 先		
				最寄りの 高速道路IC	高速道路等IC からの距離		休憩場所 の広さ(m ²)	部屋の床 の材質	非常用電源 設備の有無	風呂・ シャワー の有無	寝具類 の有無	備 考	会員担当者 (所属・氏名・電話番号)
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													

様式 8

〇〇県支部長	第	報	月	日	時	分
--------	---	---	---	---	---	---

〇〇県支援拠点水道事業体の(設置・変更)について

各位

次のとおり決定したので、ご連絡いたします。

事業体名	〇〇市水道局
------	--------

【連絡先】

調整担当	
E-Mail	
電話番号	日中:
	夜間:
FAX番号	

【支援概要】

<input type="radio"/>	給水車への給水基地の提供
	施設名:
	住所:
	電話番号:
	FAX番号:
	備考:
<input type="radio"/>	宿泊場所確保の補助
<input type="radio"/>	物資(〇〇〇〇)の調達
<input checked="" type="checkbox"/>	情報連絡の補助

【備考】

--

様式 9

〇〇市 第 報 月 日 時 分

水道給水対策本部の(設置・変更)について

下記のとおり、水道給水対策本部を(設置・変更)しましたのでお知らせします。

名称: 〇〇地震●●市水道給水対策本部

設置日時: 令和 年 月 日 時 分

設置場所: 〇〇県〇〇市〇〇1-1-1 〇〇市庁舎〇階 水道局内

【組織】

[水道給水対策本部長]

水道事業管理者

・水道給水対策本部の活動における意思決定

[統括指揮担当]

総務部長

Tel: **-****-****

mail: soumu@***.**.jp

Fax: **-****-****

担当: 総務課 〇〇・〇〇

- ・日本水道協会救援本部との連絡調整
- ・一般行政部局の災害対策本部との窓口調整
- ・被害状況の把握と応援要請内容の確認
- ・各関係機関による応援活動の全体調整
- ・関係団体(水団連・全管連等)との連絡調整

[応急給水指揮担当]

総務課長

Tel: **-****-****

mail: ****@***.**.jp

Fax: **-****-****

担当: 給水課 〇〇・〇〇

- ・断水、通水状況及び応急給水活動状況等に関する情報の集約と応援要請の確認
- ・応急給水計画の作成
- ・応急給水隊の設置
- ・応急給水隊の指揮命令
- ・応急給水活動に必要な情報の収集と伝達
- ・自衛隊及び民間団体等との連絡調整
- ・応急給水活動に必要な資機材等の調達

[応急復旧指揮担当]

工務部長

Tel: **-****-****

mail: ****@***.**.jp

Fax: **-****-****

担当: 工事課 〇〇・〇〇

- ・基幹施設の被害状況及び応急復旧活動状況等に関する情報の収集と応援要請の確認
- ・応急復旧計画の作成
- ・応急復旧隊の設置
- ・応急復旧隊の指揮命令
- ・応急復旧活動に必要な情報の収集と伝達
- ・応急復旧活動に必要な資機材等の調達

[総務担当]

総務係長

Tel: **-****-****

mail: ****@***.**.jp

Fax: **-****-****

担当: 総務課 〇〇・〇〇

- ・住民等への広報業務
- ・応援水道事業者の宿舎等の手配に関する補助
- ・応援車両の駐車場の確保や諸手続き等に関する補助
- ・ボランティアグループ等への連絡調整に関する補助
- ・その他応援活動を支援するために必要な活動

【備考】

災害時の応急復旧費用に関する負担協定

(趣旨)

第1条 この協定は、□□震災により水道施設が損傷を受け、通常の給水に支障を生じた事に伴い、円滑かつ迅速な応急復旧活動（漏水調査）を実施するに当たって、応援の要請を受けた〇〇市（以下「甲」という。）と応援を要請した△△市（以下「乙」という。）との間で、応急復旧に要する費用（以下「応急復旧費用」という。）の負担区分について必要な事項を定めるものである。

(応急復旧費用の負担)

第2条 応急復旧費用の各費用科目に関する負担は、次の各号に定めるところにより行う。

- 一 応援職員の人件費等のうち、その職員の職員たる身分に基づき支給される給料及び手当については、甲の負担とし、応急復旧活動に伴い別途支給される超過勤務手当等の諸手当及び旅費については、甲の諸手当及び旅費に関する規定に基づき算出した額を、乙が負担する。
 - 二 応急復旧に使用する材料の調達等に要する費用については、乙の負担とする。
 - 三 応急復旧に従事した工事事業者への支払（工事請負費等）については、乙の負担とする。なお、工事請負費の算定に当たっては、甲が地理的条件、気候的用件に加え、作業の困難度及び効率性に影響を与える諸条件（工事の規模、所要日数等）を十分に考慮しながら実情に応じて適正に行うものとする。
 - 四 応援に要した車両、機材等の燃料費、修理費、賃借料は乙の負担とする（機材や救援物資を輸送するため車両を賃借した場合を含む。）。
 - 五 応援職員の被災都市での宿泊や食料に係る経費は乙の負担とし、それを補完する目的で応援職員が携行する食料、生活用品等は、甲の負担とする。
 - 六 応援に要する消耗品の購入費や関連経費については、乙の負担とする。
 - 七 応援職員の災害補償費は、出張中の公務災害補償に係るものであり、甲が負担する。ただし、応援職員の傷病に対する応急的な治療費は乙が負担する。なお、第三者に損害を与えた場合の補償金については、応援作業中のものは乙が負担し、往復途上のものは甲が負担する。
- 2 前項各号の具体的な区分は、別表のとおりとする。

(応急復旧費用の一時繰替支弁)

第3条 甲は、乙が前2条に規定する費用を支弁するいとまがなく、かつ、乙から要請があった場合は、一時繰替支弁するものとする。

- 2 甲は、前項の規定により一時繰替支弁した場合、関係書類を添付した請求書により、乙に請求するものとする。

(協 議)

第4条 この協定に定めのない事項及びこの協定の内容に疑義が生じた場合は、その都度協議して定めるものとする。

附 則

この協定は、令和〇〇年〇〇月〇〇日から適用する。

この協定の成立を証するため本書二通を作成し、それぞれ記名押印の上、各自その一通を保有するものとする。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

甲 △△市水道事業管理者
 水道 太 郎

乙 ▲▲市水道事業管理者
 水道 次 郎

別表（第2条第2項）

	甲が負担する費用	乙が負担する費用
人件費等	給料 地域手当等基本的な手当	超過勤務手当、深夜勤務手当 特殊勤務手当 管理職員特別勤務手当 旅費（日当含む）
材料費		継手、直管、異形管 弁栓類、弁きょう、鉄蓋類 等
工事請負費		工事請負費（材料費、労務費、 機械器具損料、滞在費、諸経費等）
車両、機材等の 費用	損料	燃料費（ガソリン、軽油） 修理費 賃借料 輸送料
滞在費用	携行する食料費 携行する寝袋、テント等 被服（防寒服・割当のない職員分・ クリーニング代） 生活用品、その他福利厚生費	食料費（弁当） 宿泊費（仮設ハウス設置費用、ホテル等宿泊費）
その他事務費等	写真代「記録・報告・広報用」 その他事務用品	写真代「工事確認用」 作業用消耗品 通信費 消火器、 地図 コピー代
補償関係費用	応援職員の災害補償費 「出張中の公務災害」 第三者に対する損害賠償金の負担 「往復途上の事故等」	応援職員の傷病に対する応急的な処 置に係る費用 第三者に対する損害賠償金の負担 「応援作業中の事故等」

様式 11

(応援水道事業体用)

記載例

資機材の備蓄及び整備状況調査表 (1)

(令和〇〇年度現在)

〇〇県支部 〇〇市 水道局

項目	内容	保有数量	初期応援可能数	備考
車 両	給水車 (4 m ³)	2	1	加圧
	給水車 (2 m ³)	2	1	無加圧
	運搬車 (2 t)	1		
	運搬車 (4 t クレーン付き)	1		2.9t吊り
	作業車 (2 t)	1		
	ライトバン	2	1	
	その他	5		原付
給水容器	仮設水槽 (1.0 m ³)	10	5	架台、水栓供
	仮設水槽 (0.5 m ³)	10	5	架台、水栓供
	給水タンク (500ℓ)	5	2	車載用
	給水タンク (300ℓ)	5	2	車載用
	給水タンク (200ℓ)	5	2	車載用
	ポリタンク (20ℓ)	20	10	
	ポリタンク (10ℓ)	50	20	
	ポリ袋 (5ℓ)	200	100	背負い型
	その他			
機材類	仮設給水栓セット	10	5	
	ろ過器	1		
	発電機	3	1	ガソリン
	投光器	3	1	
	鉄管切断機	1		
	電動ねじ切り機	1		

様式 11

(応援水道事業体用)

記載例

資機材の備蓄及び整備状況調査表 (2)

(令和〇〇年度現在)

〇〇県支部 〇〇市 水道局

項目	内容	保有数量	初期応援可能数	備考
管材料	直管 (75 mm)	10	5	K型
	直管 (100 mm)	10	5	〃
	直管 (150 mm)	5	2	〃
	曲管 (75 mm×45°)	5	2	K型
	曲管 (75 mm×90°)	5	2	〃
	曲管 (100 mm×45°)	5	2	〃
	曲管 (150 mm×90°)	5	2	〃
	丁字管 (75 mm×75 mm)	3	1	K型
	丁字管(100 mm×75 mm)	3	1	〃
	継輪 (75 mm)	5	2	K型
	継輪 (100 mm)	3	1	〃
	漏水補修金具(75 mm)	5	3	
	漏水補修金具 (100 mm)	4	2	
	漏水補修金具 (150 mm)	4	2	
	漏水補修金具 (200 mm)	2	1	
	その他 (接合部品類)			必要量は要協議
食料及び 飲料水等	ペットボトル (飲料水)	500	200	
	缶詰 (飲料水)	200	100	
	食料品			
	・主食 (白飯)	500	300	
	・乾パン類等	500	300	
	・副食物	500	300	

様式 12

(応援水道事業体用)

記載例

応急給水応援体制報告書

作成日	〇〇年 〇月〇〇日	派遣期間	〇月〇〇日(□) ~ 〇月〇〇日(◆)
-----	-----------	------	---------------------

記入上の留意事項	・ 応援班到着時、応援班構成変更時に作成し、 現地の水道給水対策本部に提出
----------	--

○応援班連絡先

事業体名	〇〇市水道局	応急給水班数	1 班
責任者	氏 名： 水道 太郎 連絡先電話：090-****-****	車両総数	2 台
事務担当者	氏 名： 水道 次郎		(給水車-1台) (連絡車-1台)
給水要員	氏 名： 水道 三郎		
給水要員	氏 名： 水道 四郎		
給水要員	氏 名： 水道 五郎		
	氏 名：		

○応援班構成

人員	給水用具	車両台数 (タンク容量)	備考
5 人			(内1名は連絡要員)
人	給水車(加圧式)	4 m ³ 1台	
人	可搬ポリパック等	6.0ℓ 200袋	背負い式
人	仮設給水用具等	2台	仮設水槽(キャンバス) 仮設給水栓
合計 5 人			

様式 13 (表)

(被災水道事業体用)

(表) 【記載例】

〇〇-〇〇-〇〇

整理番号
指示・報告等、一連の
工程を同一番号で管理

応急給水作業指示書

作成日	〇年〇月〇日	備考	
-----	--------	----	--

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 給水車ごとに作成 作業開始前にコピーを水道給水対策本部に提出 ●印箇所：水道給水対策本部が記入 ○印箇所：応急給水班が記入
--------------	--

●作業指示内容

事業体名	◇□市水道局
給水車	1 号車 タンク容量 4 m ³ 加圧 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
給水拠点	〇〇小学校 (〇〇市△▼町×-×-××) 〇〇市民会館 (〇〇市△△町◎-〇〇-▼) 〇〇市民体育館 (〇〇市〇〇町△-◇-◎×)
給水基地	◆◇浄水場 (〇〇市〇〇町◆-×□)
特記事項	〇〇市民会館に仮設旧水槽 (キャンパス) 1 台設置済み 〇〇市民体育館は、受水槽に応急給水

●作業指示者 (〇〇市水道給水本部)

事業体名	〇〇市水道局
担当者	氏 名：水道 花子 連絡先電話：090 - **** - @@@@

○現地応急給水隊 (応急給水班)

事業体名	◇□市水道局	作業員数	3 人
連絡責任者	氏 名：水道 太郎 連絡先電話：090 - #?& - \$\$@#	車両ナンバー	◇□ ◎ ××-△▼

様式 13 (裏)

(応援水道事業体用)

(裏) 【記載例】

〇〇-〇〇-〇〇

整理番号

応急給水作業報告書

作成日	〇年〇〇月〇〇日	備考	
-----	----------	----	--

記入上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・時系列順に作業内容を記入 ・作業終了後、水道給水対策本部に提出
----------	---

○作業内容 開始時間 午前 7:00 終了時間 午後 7:00 (19:00)

給水時間又は注水時間	給水拠点又は給水基地	注水量	給水量	備考
1 7:00 ~ 7:30	◆◇浄水場	2.0m ³	m ³	
2 7:45 ~ 9:00	〇〇小学校	m ³	2.0m ³	
3 9:15 ~ 9:45	◆◇浄水場	2.0m ³	m ³	
4 10:30 ~ 11:00	〇〇市民会館	m ³	1.0m ³	キャンパス水槽 1基 人はまばら
5 11:30 ~ 12:00	〇〇市民体育館	m ³	1.0m ³	受水槽、避難者減少
6 13:30 ~ 14:00	◆◇浄水場	2.0m ³	m ³	
7 14:15 ~ 15:45	〇〇小学校	m ³	2.0m ³	応急給水不足、行列あり
8 16:00 ~ 16:30	◆◇浄水場	2.0m ³	m ³	
9 16:45 ~ 19:00	〇〇小学校	m ³	2.0m ³	避難者数前日と変化なし
: ~ :		m ³	m ³	
: ~ :		m ³	m ³	
: ~ :		m ³	m ³	
: ~ :		m ³	m ³	
: ~ :		m ³	m ³	
作業時間合計	12 時間 00分			
給水量合計	8.0 m ³			
注水量合計	8.0 m ³			
特記事項 (給水場所の様子等を記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇小学校は、避難者が多いため本日より同規模の応急給水活動が明日以降も必要と考える。 ・〇〇市民会館、〇〇市民体育館の受水槽等への応急給水は、避難者の減少に伴い給水量が減ったため、1日当たり1回の補給を行えば充分と考える。 			

記載例

様式14

(被災水道事業体用)

応急給水作業予定表

No. ◎

作成日	◎年 ○○月 ○○日	備考	
-----	------------	----	--

記入上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の給水作業開始直後、作業指示書【様式13(表)】を基に水道給水対策本部が作成 ・給水活動の状況把握が目的
----------	--

作成者	氏名： 水道 花子 連絡先番号： 090-1111-****
-----	-----------------------------------

NO.	事業体名	代表者氏名 連絡先番号	作業員数 (人)	タンク容量 (m ³)	加圧	給水拠点	備考
1	○○市	水道 太郎 090-3333-****	2	2	有・無	○○小学校 ○○市民会館 ○○市民体育館	○○-○○-○○
2	○○市	水道 二郎 090-4444-****	2	2	有・無	●△△中学校 □□第一高校	○○日午後から ○○-○○-○○
3	△△市	水道 太郎 090-5555-****	2	4	有・無	○○市民病院	○○-○○-○○
4	△△市	水道 太郎 090-6666-****	2	2	有・無	○○市役所	○○日午後から ○○-○○-○○
5	□□市	水道 太郎 090-7777-****	2	1	有・無	○○市役所	荷台積載型 ○○-○○-○○
6					有・無		
7					有・無		
8					有・無		
9					有・無		
10					有・無		
11					有・無		
12					有・無		
13					有・無		
14					有・無		
15					有・無		
計	応援事業体数 3	給水車(5 台)	10 名	11.0m ³	有 3 無 2	台(8.0 m ³) 台(3.0 m ³)	

記載例

様式15
(被災水道事業体用)
No.◎

応急給水作業集約表

作成日	◎年 ○○月 ●●日	備考	
-----	------------	----	--

記入上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の給水作業終了後、作業報告書【様式13(裏)】を基に水道給水対策本部が作成 ・実際の給水活動の集約が目的
----------	--

作成者	氏名： 水道 花子 連絡先番号： 090-1111-****
-----	-----------------------------------

NO.	事業体名	給水車台数	主な給水拠点	給水量	備考 (給水車の内訳等を記入)
1	○○市	2	○○小学校、○○市民会館、○ ○市民体育館、●△△中学校、 □□第一高校	4 m ³	2m ³ 給水車:2台(1台加圧) 無加圧車は○○日午後から
2	△△市	2	○○市民病院、○○市役所	6 m ³	2m ³ :1台、4m ³ :1台(加圧2台) 2m ³ 給水車は○○日午後から
3	□□市	1	○○市役所	1 m ³	荷台積載型
4				m ³	
5				m ³	
6				m ³	
7				m ³	
8				m ³	
9				m ³	
10				m ³	
11				m ³	
12				m ³	
13				m ³	
14				m ³	
15				m ³	
計		5		11 m ³	

様式16

(被災水道事業体用)

第 〇 報

水道施設被害状況等調査票

令和 〇年〇〇月〇〇日 〇時 現在

被災地事業体名		〇〇県 〇〇市			水道事業数	上水道	1
被災地区名		〇〇地区 (上水道・簡易水道)				簡易水道	6
地域形状		山間部 <input checked="" type="checkbox"/>	市街地 <input type="checkbox"/>	沿岸部 <input type="checkbox"/>		飲料水供給施設	0
全給水戸数	***戸	全給水人口	***人	地震名	令和〇年 〇〇地震 (〇〇月〇〇日)		
断水戸数	***戸	断水人口	***人	報告者	〇〇市水道部〇〇課長 〇△ ●◎		
復旧戸数	***戸	復旧人口	***人	連絡先	電話番号	** - ** - ****	Fax ** - ** - ****
応急給水状況 (記入欄が不足する場合は、別紙作成など適宜対応すること)							
給水車台数	給水車容量	給水地区又は施設	配車事業体	注水場所	応急給水時間	給水予定期間	
6台	2 m ³	〇〇地区	自事業体所有	〇〇浄水場	8:00~19:00	収束まで	
4台	2 m ³ ・4 m ³	〇〇市民病院	□□市	同上	8:00~18:00	〇月〇日(予定)	
1台	2 m ³	△△地区	□□企業団	同上	8:00~18:00	〇月〇日(予定)	
6台	2 m ³	▽▽地区	□□町	同上	8:00~18:00	〇月〇日(予定)	
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇日〇〇時現在、□□市、□□企業団、□□町から計10台の給水車が応急給水活動中。(充足) 〇●日をもって、応援応急給水活動は終了の見込み。 以降は、本市が保有する6台(民間借り上げ車4台含む)で対応可能。 						
被害状況調査				応急復旧状況			
	被害状況	補足コメント		復旧状況	復旧時期	補足コメント	資機材調達等
水源・取水施設	未確認	●		未定	未定		
	被害大	□		計画中			
	被害小	□		復旧中			
	被害無	□		完了			
導水施設	未確認	□		未定		● DIP φ150mm (K型)	〇〇市に資材の借用を要請(済)
	被害大	●		計画中			
	被害小	□		復旧中	〇月〇日迄		
	被害無	□		完了			
浄水施設	未確認	□		未定			
	被害大	□		計画中			
	被害小	●		復旧中			
	被害無	□		完了	〇月〇日		
送水施設	未確認	□		未定			
	被害大	□		計画中			
	被害小	□		復旧中			
	被害無	●		完了			
配水施設	未確認	□		未定			
	被害大	□		計画中			
	被害小	□		復旧中			
	被害無	●		完了			
配水管路	未確認	□		未定		● SP100mm (溶接)	補修金具類(常備品)
	被害大	□		計画中			
	被害小	●		復旧中	本日中		
	被害無	□		完了			
給水施設	未確認	□		未定			
	被害大	□		計画中			
	被害小	●		復旧中	2週間程度		
	被害無	□		完了			
補足事項							
高速・一般道路状況など	● 山間部は落石のため一般道通行止め(〇〇地区住民は避難済み) ● 高速道路は通行可能						
携帯電話等の通信状況	● 山間部では、携帯電話全社不通(復旧見込みは▼日) ● 有線電話のみ通話可能						
宿泊施設の営業状況	● 市街地に限り支障なし						
コンビニ等の営業状況	● 概ね支障なし(一部店舗は閉鎖中)						
給油スタンドの営業状況	● 市街地に限り概ね支障なし						
その他							

様式 17 (表)

(応援水道事業体用)

(表) 【記載例】

No. ○

応急復旧応援体制報告書

作成日	○年○月●●日	派遣期間	○月○日(○) ~ ○月●日(●)
-----	---------	------	-------------------

記入上の留意事項	・応援班到着時、及び応援班構成変更時に作成し、 現地の水道給水対策本部に提出する
----------	---

○応援班連絡先

事業体名	○○市水道局	通水及び 漏水調査班数	1 班
総括責任者	氏 名：水道 太郎 連絡先電話：090-1111-****	応急復旧班数	2 班

○応援班構成

作業内容	人員(人)	持参資機材等	備考
総括班 (連絡調整)	1 人		責任者：水道 太郎 連絡先：090-1111-****
総括班 (記録)	1 人		
通水及び漏水調査班 (通水及び漏水調査)	4 人	相關式漏水発見 装置	責任者：水道 一郎 連絡先：090-3333-****
修理班 (配水管、給水管修理)	6 人	ダンプトラック (2 t) クレー付きトラック (4 t) バックホウ (0.08 m ³) その他資機材 一式	会社名：○○建設工業(株) 責任者：建設 太郎
修理班 (配水管、給水管修理)	6 人	ダンプトラック (2 t) クレー付きトラック (4 t) バックホウ (0.08 m ³) その他資機材 一式	会社名：(株)△△建設 責任者：土木 次郎
合計	18 人		

様式 17 (裏)

(応援水道事業体用)

(裏) 【記載例】

〇〇月●●日提出

〇〇市水道局		応急復旧班	
総 括 班	氏 名	携帯電話番号	派遣期間 (予定)
	(責 任 者) 水道 太郎	090-1111-****	〇〇月〇日(○) ～〇〇月●日(●)
	(記録) 水道 次郎		
通水及 び漏水 調査班	(責 任 者) 水道 一郎	090-3333-****	〇〇月〇日(○) ～〇〇月●日(●)
	水道 三郎		
	水道 四郎		
	水道 五郎		
修 理 班 (〇〇建設工業株)	(責 任 者) 建設 太郎	現場代理人 090-5555-****	〇〇月〇日(○) ～〇〇月●日(●)
	建設 一郎		配管工
	建設 次郎		
	建設 三郎		
	建設 史郎		重機オペレーター
	建設 伍郎		

様式 18 (表)

(被災水道事業体用)

(表) 【記載例】

漏水調査受付書

〇〇—〇〇—〇〇

整理番号

受付・現地調査・修理等、一連の工程を同一番号で管理

記入上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通報者から可能な限り詳細を聞き取る。 ・ 住宅地図、配管図に漏水箇所を明示し添付。
----------	--

受付番号	〇〇—〇〇
受付日時	〇〇年 ●月〇〇日 〇曜日 〇時 〇分
通報者	氏名：〇〇 ●◎ 連絡先電話： #####-****-@@@@ 住所：〇〇市▽△町*丁目@-**
受付者	事業体名： 〇〇市水道局 氏名：水道 太郎 電話：090-1111-****

場 所	〇〇市▽△町*丁目@-** 〇〇 ●◎宅前の車道部	
漏水状況	場 所	■道路 (車道・歩道・私道・その他) □宅地内 (メータ上流・下流)
	舗 装	■アスファルト □コンクリート □砂利 □その他 ()
	道 路	■陥没 □隆起 □割裂 □損傷なし □その他 ()
	漏 水	■漏水中 □漏水痕 □その他 ()
	漏水量	■大 □中 □小 ※通報者の主観による
備 考	・ 〇〇 ●◎宅前の道路から水がブロック塀倒壊。 ※漏水量 大：大量の水が噴き出して道路陥没や、家屋に影響 中：水は溢れているが家屋等への影響は、現時点では無い 小：水が道路等にじむ程度	

様式 18 (裏)

(応援水道事業体用)

(裏) 【記載例】

〇〇—〇〇—〇〇

整理番号

漏水調査報告書

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地調査後に記入し、水道給水対策本部に提出。 ・ 仮配管、仕切弁新設等、管路を修理しない復旧工事について備考欄に内容を記載。
--------------	---

調査番号	〇〇 - 〇〇	
調査日時	〇〇年 ●月〇〇日 〇曜日 〇時 〇分	
調査担当者 (代表者)	事業体名： 〇〇市水道局	氏名：水道 太郎 電話：090-1111-****
場 所	〇〇市▽△町*丁目@-** 〇〇 ●◎宅前の車道部	
漏水状況	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 道路 (車道・歩道・私道・その他) <input type="checkbox"/> 宅地内 (メータ上流・下流)
	舗 装	<input checked="" type="checkbox"/> アスファルト <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂利 <input type="checkbox"/> その他 ()
	道 路	<input checked="" type="checkbox"/> 陥没 <input type="checkbox"/> 隆起 <input type="checkbox"/> 割裂 <input type="checkbox"/> 損傷なし <input type="checkbox"/> その他 ()
	漏 水	<input checked="" type="checkbox"/> 漏水中 <input type="checkbox"/> 漏水痕 <input type="checkbox"/> 修理済み <input type="checkbox"/> その他 ()
	漏水量	<input checked="" type="checkbox"/> 地上流出 (大 中 小) <input type="checkbox"/> 地下流出 (大 中 小)
漏水確認	残 塩	<input checked="" type="checkbox"/> あり (mg/l) <input type="checkbox"/> なし
漏水管路	<input type="checkbox"/> 導水管 <input type="checkbox"/> 送水管 <input checked="" type="checkbox"/> 配水管 (配水本管・配水支管) <input type="checkbox"/> 給水管 (メーター上流) <input type="checkbox"/> 給水管 (メーター下流) <input type="checkbox"/> 不明	
修 理	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 経過観察
	緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> その他 ()
備 考	<p>※ 修理者に対して指示がある場合は具体的に記入してください。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 車道センターライン付近から水が噴出 ・ 〇〇 ●◎宅のブロック塀倒壊 (写真) ・ 配水支管 (φ200 mm) の漏水 ・ バルブで止水完了 <p>(止水バルブは別紙配管図による)</p>	

応急復旧活動対応表

【記載例】

記入上の留意事項
 ・当日の受付状態、漏水調査班、管路修理班の動向を把握することが目的
 ・PCで管理することで住所検索等が容易となり、修理依頼等の重複を防止することが可能

No. ㊦

活動日	〇〇月〇〇日	被災事業体名	〇〇市水道局
記入責任者	氏名：水道 花子	連絡先電話：090-1111-****	****

整理番号	漏水受付				漏水調査				漏水修理				備考 (受付番号等)		
	日時	事業者名 受付者	市(区)	町	丁目	番地	住宅・地先名	調査日	事業者名・氏名 連絡先電話	修理	依頼日 時間	完了日 時間		事業者名・監督員 連絡先電話	施工業者名・担当者 連絡先電話
1	〇/〇 8:20	〇〇市水道局 水道 太郎	〇〇市	△町	*	*-▽	◎◎宅地先	〇/〇	▽〇市水道局:△□ 090-9999-*****	要 不要	〇/〇 11:20	〇/〇 15:20	▽〇市水道局:△□ 090-9999-*****	水道建設㈱: 090-8888-@@@	〇〇-〇〇-〇〇 ・報告書及び現場写真提出済
2	〇/〇 8:21	〇〇市水道局 水道 二郎	〇〇市	△町	*	▼-▽	スーパー◎ 前歩道	〇/〇	▽〇市水道局:△□ 090-10000-*****	要 不要					〇〇-〇〇-〇〇 ・報告書作成中 ・雨水を誤認
3	〇/〇 9:10	〇〇市水道局 水道 太郎	〇〇市	〇〇町	@	▽	◎◎宅地先	〇/〇	□◇市水道局:〇▽ 090-10001-*****	要 不要	〇/〇 13:30	〇/〇 14:50	□◇市水道局:〇▽ 090-10001-*****	凸凹建設㈱: 090-1111-@@@	〇〇-〇〇-〇〇 ・報告書及び現場写真提出済
4	〇/〇 9:15	〇〇市水道局 水道 三郎	〇〇市	□□町	π	*	◎◎宅地先	〇/〇	□◇市水道局:〇▽ 090-10002-*****	要 不要	〇/〇 12:20	〇/〇 16:45	▽〇市水道局:△□ 090-10002-*****	〇〇建設工業㈱: 090-8891-@@@	〇〇-〇〇-〇〇 ・報告書作成中
5	〇/〇 10:24	〇〇市水道局 水道 太郎	〇〇市	□△町	φ	■◇	△△宅地先	〇/〇	▽〇市水道局:△□ 090-10003-*****	要 不要					〇〇-〇〇-〇〇 ・報告書作成中 ・井戸水を水道漏水と誤認
6	〇/〇 11:25	〇〇市水道局 水道 二郎	〇〇市	〇▽町	*	▽◇	㈱□▽□前 車道部	〇/〇	▽〇市水道局:△□ 090-10004-*****	要 不要	〇/〇 13:00	〇/〇 17:20	▽〇市水道局:□□ 090-9999-*****	㈱凸凹設備工業: 090-8891-@@@	〇〇-〇〇-〇〇 ・報告書作成中
7										要 不要					
8										要 不要					
9										要 不要					
10										要 不要					
										要 不要					
										要 不要					

様式 20 (表)

(応援水道事業者用)

(表) 【記載例】

管路修理報告書

〇〇-〇〇-〇〇

整理番号

記入上の 留意事項	施工前と施工後の配管図は、可能な限り詳細に記入
--------------	-------------------------

工事番号	〇〇-〇〇
施工期間	〇年 〇月〇〇日 △曜日 〇〇時〇〇分 ~ 〇月●〇日 □曜日 ◎時〇●分
監督者	事業者名： 〇〇市水道局 氏名：水道 三郎 電話：090-1111-@@@@
施工業者 (代表者)	施工業者名：▽△設備工業(株) 氏名：土木 一郎 電話：090 - -

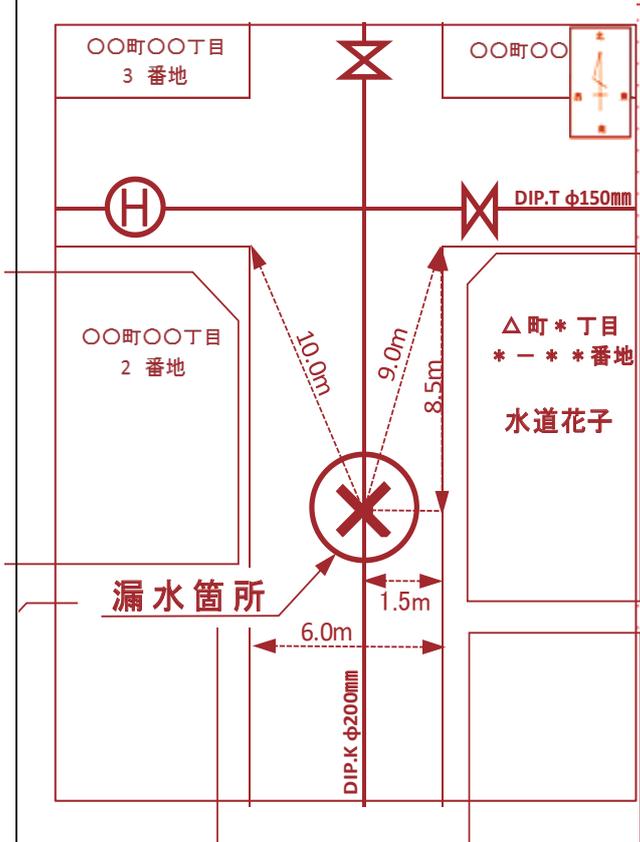
場 所	〇〇市 △ 町 * 丁目 * - * * 番地 (車道部) 水道 花子 宅地内		
被害施設	<input checked="" type="checkbox"/> 管路 <input type="checkbox"/> 付属設備 <input type="checkbox"/> その他 ()		
修理管路	漏水管路	<input type="checkbox"/> 導水管 <input type="checkbox"/> 送水管 <input checked="" type="checkbox"/> 配水管 (配水本管 <u>配水支管</u>) <input type="checkbox"/> 給水管 (メーター上流) <input type="checkbox"/> 給水管 (メーター下流)	
	口 径	φ 200 mm	
	材 質	<input type="checkbox"/> DIP <input checked="" type="checkbox"/> CIP <input type="checkbox"/> SP <input type="checkbox"/> VP <input type="checkbox"/> ポリエチレン <input type="checkbox"/> LP <input type="checkbox"/> その他 ()	
	継手形式	<input checked="" type="checkbox"/> A形 <input type="checkbox"/> K形 <input type="checkbox"/> T形 <input type="checkbox"/> S、SII形 <input type="checkbox"/> NS形 <input type="checkbox"/> GX形 <input type="checkbox"/> KF、UF形 <input type="checkbox"/> フランジ形 <input type="checkbox"/> 溶接 <input type="checkbox"/> ねじ込み <input type="checkbox"/> TS <input type="checkbox"/> RR <input type="checkbox"/> 融着 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 ()	
付属設備	<input type="checkbox"/> 消火栓 <input type="checkbox"/> 空気弁 <input type="checkbox"/> バルブ・止水栓 <input type="checkbox"/> サドル分水栓 <input type="checkbox"/> その他 ()		
被害状況	管路	<input type="checkbox"/> タテ割れ <input type="checkbox"/> ヨコ割れ <input type="checkbox"/> 折れ <input type="checkbox"/> 破断 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	<u>継手</u>	<input checked="" type="checkbox"/> 抜け <input type="checkbox"/> ズレ <input type="checkbox"/> 割れ <input type="checkbox"/> ゴム輪 (破断、ズレ) <input type="checkbox"/> その他 ()	
	付属設備	<input type="checkbox"/> 機能不全 <input type="checkbox"/> 抜け <input type="checkbox"/> 割れ <input type="checkbox"/> 変形 <input type="checkbox"/> ズレ <input type="checkbox"/> その他 ()	
地盤状況	道路状況	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 陥没 <input type="checkbox"/> 隆起 <input checked="" type="checkbox"/> 割裂 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	クラック幅	<input type="checkbox"/> 管直角方向 <input checked="" type="checkbox"/> 水平方向 _____ cm (1cm 以上を記入) <input checked="" type="checkbox"/> 段差 (沈下量) _____ cm (漏洩位置から 15m 範囲内 (全体で 30m))	
	地盤の傾斜	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 管軸方向 <input checked="" type="checkbox"/> 管直角方向 (傾斜角度 ≡ _____ °)	
	液状化	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※近くに噴砂跡の有無	盛土 <input type="checkbox"/>
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・通水後、約 10m 離れた位置 (△町*丁目*-*〇番地先) で漏水を確認。 ・バルブ閉止により本日の作業終了。(給水対策本部に連絡済み：●時〇〇分 ◎〇受け) ・新たな漏水箇所の補修は、明日実施予定。 		

様式 20 (裏)

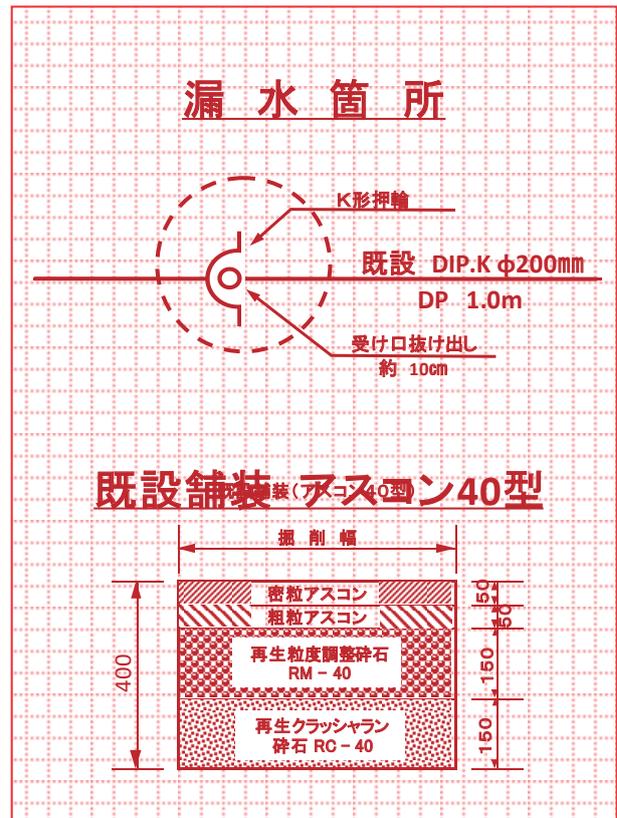
(応援水道事業体用)

(裏) 【記載例】

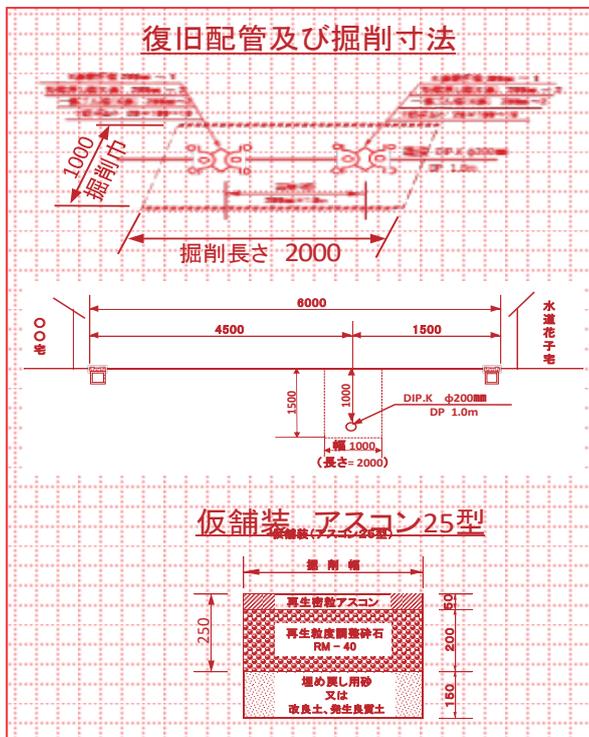
現場見取り図



配管図 (施工前)



配管図 (施工後)



使用材料集計

- ・両切り管 200mm ~ 1.0m
- ・K形継ぎ輪 200mm ~ 2
- ・特殊押し輪(K形) 200mm ~ 4
- ・一体ゴム輪(K形) 200mm ~ 4
- ・T頭ボルト 20×100~32

撤去材

- ・受け口切り管 200mm ~ 1.1m
- ・押し輪(K形) 200mm ~ 1
- ・一体ゴム輪(K形) 200mm ~ 1
- ・T頭ボルト 20×100~8

【記載例】

管路修理集約表

様式21

(被災水道事業体用)

No. 〇

活動日	〇〇月〇〇日	被災事業体名： 〇〇市水道局	記入上の留意事項	資料-14管路修理報告書の集約に使用する。
記入者	氏名：水道 太郎	連絡先電話： 090-1111-0000		

番号	管路区分	管路属性		被害形態			被害施設住所				施工者		備考 (修理指示番号等)				
		管種	口径	継手	管路	付属設備	市(区)	町	丁目	番地	住宅・地先名	開始		完了	地方支部名	事業体名	業者名
1	導水管	SP	500	溶接	継手漏水		〇〇市	〇町	*	*	▽△公園前 車道部	〇/〇	〇/〇	〇●地方支部	●●市	▽△設備工業(株)	〇〇-〇〇-〇〇 漏水補修金具
2	配水管(本・支)	DIP	600	K型	継手抜け	空気弁 機能不全	〇〇市	△町	*	*	スパー 前車道部	〇/〇	〇/〇	〇〇地方支部	▽△市	□建設(株)	〇〇-〇〇-〇〇 ゴム輪破断
3	配水管(本)	CIP	150	A型	管体破損	バルブ 破損	〇〇市	△町	*	*	併〇〇前 歩道	〇/〇	〇/〇	〇〇地方支部	□●市	併◇□建設興行	〇〇-〇〇-〇〇 破損部取り替え
4	配水管(本)	SP	50	ねじ	継手破損		〇〇市	□〇町	*	*	〇〇宅前 車道部	〇/〇	〇/〇	□△地方支部	△〇町	(有)◇□給水設備	〇〇-〇〇-〇〇 破損部取り替え
5	配水管(本・支)	SP	400	溶接	管体破損	空気弁 破損	〇〇市	△町	*	*	▽△橋左岸 橋梁添架管	〇/〇	〇/〇	△〇地方支部	〇〇市	併〇〇土木	〇〇-〇〇-〇〇 補修クランプ設置

導水管
 送水管
 配水管(本・支)
 給水管
 (上・下流)
 を記入する

印籠型
 A型、K型
 T型、NS型
 溶接、ねじ
 TS、RR
 電気融着
 等を記入

継手抜け
 継手漏水
 管体破損
 継手破損
 属具破損
 その他
 不明
 等を記入

機能不全
 破損
 等を記入

【記載例】

様式22

管路被害算定表 (管種・口径・被害形態別)

作成日時	〇〇月 〇日 18:30時現在	被災事業体名: 〇〇市水道局	記入上の 留意事項	管種・継手形状ごとに分類 し集計する。
記入者	氏名: 水道 花子	連絡先電話: 090-1111-****		

管種・継手 被害形態	CIP-A						VP-TS					
	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備
40mm							11	1	25	5	8	
50mm				1			32	13	52	33	11	
75mm	12	5		6	1	5	2	2	1	3		1
100mm	21	17		15	3	12			1	2		1
125mm							1					
150mm	31	20		7	3	2				1		
200mm	9	9		1	2	2	1					1
250mm	7	5				2						
300mm	3				1	1						
350mm	3											
400mm	1											
500mm	4				1							
600mm	2											
700mm												
800mm												
mm												
mm												
mm												
小計 (件)	93	56	0	30	11	24	47	16	79	44	19	3
	214						208					
管路延長 (km)	522.1						253.7					
被害率 (件/km)	0.36						0.81					

※被害率の算出にあたっては、付属設備の被害件数を除く

管種・継手 被害形態	SP (ねじ継手)						DIP-K					
	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備
40mm		20	6	13								
50mm	3		18	12								
75mm			5			2	1					
100mm	1		3			2	5		3			1
125mm							3					1
150mm							2		1			
200mm							1					
250mm							1					
300mm												
350mm												
400mm												
500mm												
600mm												
700mm												
800mm												
mm												
mm												
mm												
小計 (件)	4	20	32	25	0	4	13	0	4	0	0	2
	85						19					
管路延長 (km)	17.4						252.5					
被害率 (件/km)	4.66						0.07					

※被害率の算出にあたっては、付属設備の被害件数を除く

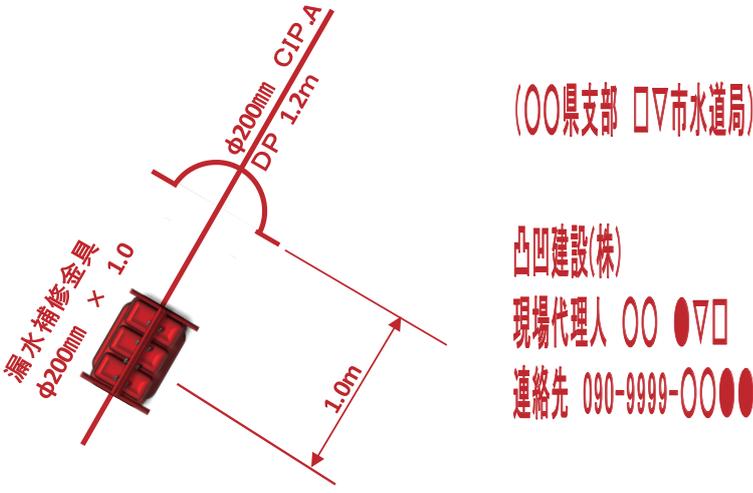
合計	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	不明	付属設備
	157	92	115	99	55	33
	551					
管路全延長 (km)	1,045.7					
被害率 (件/km)	0.50					

【記載例】

様式 23

(被災・応援水道事業体用)

黒板（撮影表示板）の作成（例）

工事名	(記載例) ○○○○ 地震災害復旧工事	……工事名として左記のように記入
工種	○○-○○-○○ 配水管(φ200mm CIP. A)漏水修理	……整理番号、受付番号等を記入
位置	○○市 △町 ○丁目 ●番地先	……住所（施工場所）を記入
撮影月日	○年 ○月 ○○日	……撮影年月日を記入
略図	<p style="text-align: center;">施工者</p>  <p>(○○県支部 □▽市水道局)</p> <p>凸凹建設(株) 現場代理人 ○○ ●▽□ 連絡先 090-9999-○○●●</p>	<p>……施工者名を記入 修理に使用した材料・口径・延長を 図化する（管割図）</p>

様式 24 (表)

(応援水道事業体用)

(表) 【記載例】

標準装備一覧表

1. 応援水道事業体職員であることを証明するもの

品名	数量	摘要
身分証明書	隊員個々に準備	
運転免許証	隊員個々に準備	
健康保険証	隊員個々に準備	
腕章 (事業体名称入り)	隊員の人員分	※派遣元の水道事業体が準備
緊急車両標章 (事業体名称入り) (横断幕、マグネット、旗等)	派遣車両数分	※応援水道事業体名入り (輸送車両用、給水隊用、復旧隊用)

2. 派遣時の服装及び携行するもの

品名	数量	摘要
作業着 (上下) + 着替え 1 着	隊員個々に準備	※季節により夏用、冬用を持参 ※貸与を受けていない隊員には 庶務担当が手配する。
雨具 (カッパ上下)、防寒着	隊員個々に準備	
安全靴及びゴム長靴	隊員個々に準備	
ヘルメット及び帽子	隊員個々に準備	
手袋 (軍手、皮手袋)	隊員個々に準備	
スニーカー、上履き等 (移動時等)	隊員個々に準備	
下着・靴下 (派遣日数分 + α)	隊員個々に準備	※季節を考慮して持参
洗面具 (タオル、歯ブラシ等)	隊員個々に準備	※替えや予備を持参すると便利

3. 生活、衛生面で必要なもの (その1)

品名	数量	摘要
小型発電機	1 台/1 隊当り	※宿泊施設が確保できなかった場合 又は水道施設内に宿泊する場合に 必要と考えられる物品を参考列記
携行缶 (発電機等燃料用)	1 個/1 隊当り	
投光器	2 基/1 隊当り	※派遣先に持参する物品を選択
ドラムコード (50m)	2 個/1 隊当り	
寝具類 (寝袋、毛布、枕等)	隊員数分	
テント (レンタル: 隊員宿泊用)	隊員数分	※テント (2~3 人/1 張を目安)
携帯用ガスコンロ	2 個/1 隊当り	
ガスボンベ (詰め替え用)	6 本/1 隊当り	
調理器具類 (鍋、やかん等)	2 個/1 隊当り	

様式 24 (裏)

(応援水道事業体用)

(裏) 【記載例】

4. 生活、衛生面で必要なもの (その2)

品名	数量	摘要
やかん (大きめのもの)	1 個×1 隊	※宿泊施設が確保できる場合は不要 ※水道施設内に宿泊する場合は、受援事業体に確認し持参する物を選択 ※持参した物は次隊に引き継ぐ
食器類 A (茶碗類)	×隊員数	
食器類 B (使い捨て容器等)	隊員数×日数×3	
割りばし、使い捨てスプーン等	隊員数×日数×3	
包丁	1 本×1 隊	
まな板	1 枚×1 隊	
電気ポット	1 個×1 隊	※次隊に引き継ぎ
懐中電灯 (電池式、充電式)	3 本×1 隊	
電池類 (単 3 等)	3 本×2 個×日数	※次隊派遣ごとに補充
簡易シャワー		※受援事業体に確認し要・不要を判断

5. 食料等

品名	数量	摘要
飲料水 (ペットボトル 1.5ℓ)	隊員数×2 本×3	※受援事業体等を確認し、現地の商店 コンビニ等の営業状況を確認後、持参する物を決定
カップ麺等	隊員数×日数×3	
レトルト食品類 (白飯、惣菜等)	隊員数×日数×3	※住民に支障の無い範囲で現地調達 ※カップ麺、レトルト、缶詰類等の傷まない食品類は次隊に引継ぎ
缶詰類 (飯類、惣菜副食類等)	隊員数×日数×3	
その他食料品	必要に応じて	

6. 救急医療薬品等

品名	数量	摘要
風邪薬	数種類×必要数	解熱剤、鎮痛剤、咳止め等
胃腸薬	数種類×必要数	整腸剤、止瀉薬、便秘薬
外傷剤	数種類×必要数	湿布薬、絆創膏
目薬	数種類×必要数	
包帯	必要数	包帯止め、三角巾、ガーゼ
マスク	必要数	
栄養剤 (ビタミン剤)	必要数	
使い捨てカイロ	必要数	冬季派遣時

7. その他

品名	数量	摘要
タイヤチェーン等	車両台数分	冬季派遣時

様式25

(被災水道事業体用)

令和〇〇年〇〇月〇〇日 〇時〇分現在
 〇〇県 〇〇市 建設部水道課

水道施設被害状況等集計表(第〇報) 【記載例】

地区名	全給水戸数※(A)	120,000 戸	全給水人口	350,000 人	断・減・濁水等の影響		緊急対策状況 (系統変更、給水車による 応急給水等)	復旧		給水再開 時刻	未復旧		復旧見通し	
					水道施設被害発生状況 (水源、取水、導水、浄水、 送水、配水施設)	発生時刻		戸数(戸)	人口(人)		戸数(戸)	人口(人)		戸数(戸)
〇〇〇〇			断水、減水又は濁水の別	〇〇月〇〇日 〇時〇〇分	38,000	114,000	給水車による応急給水中 ・管路復旧開始 (復旧材料調達済み) ・一部他系統から仮配水 ・多系統との連絡仮布設 ・増圧ポンプ手配中 ・給水車による応急給水中	1,500	4,500	日 時 分	36,500	109,500	◇日復旧(予定)	
〇〇〇〇			断水	〇〇月〇〇日 〇時〇〇分	20,000	50,000		0	0	日 時 分	20,000	50,000	◇日復旧(予定)	
△〇〇◇			断水全戸避難済み	〇〇月〇〇日 〇時〇〇分	600	1,200	・水源(湧水・井戸)枯渇 (△水源〇号井)	0	0	日 時 分	600	1,200	復旧方針の決定 △月上旬を目途	
計		0	0	(B)	58,600	165,200		1,500	4,500		(C)	57,100	160,700	
特記事項														
① 井戸水源(△水源〇号井)の枯渇に関して県支部及び地方支部と対応を協議中 ② 仮設浄水設備の情報提供及び技術支援の要請を検討 ③ 水源水質の検査可能な水質試験車の派遣要請を検討														
$\text{断水率(発災直後)} = \frac{(B)}{(A)} = \frac{\text{断水戸数}}{\text{全給水戸数}} = 48.8\%$ $\text{通水率(復旧段階)} = \frac{(A)-(C)}{(A)} = \frac{\text{全給水戸数}-\text{未復旧戸数}}{\text{全給水戸数}} = 52.4\%$														

※ 全給水戸数は、焼失・倒壊家屋、避難地域等の状況を踏まえ適切に算定する。

参考 1

災害時における応急復旧活動の応援協力に関する覚書 (全国管工事業協同組合連合会)

災害時における応急復旧活動の応援協力に関する覚書

社団法人 日本水道協会（以下「甲」という。）と全国管工事業協同組合連合会（以下「乙」という。）は、地震、風水害その他による災害の発生時において、水道施設等の早期復旧を目指すため、応援協力に関する覚書を締結し、応急復旧活動の一層の充実・強化が図れるよう、友愛的な精神に基づき協力体制を築くものとする。

具体的には、大規模な災害が発生した場合における応急復旧応援を迅速かつ円滑に遂行するため、甲の正会員相互間で行う応急復旧活動について、乙の会員は全面的に協力するものとする。

また、甲及び乙は、あらかじめ応援協力のための連絡体制を整え、災害が発生したときは、速やかに情報を相互に連絡し合うものとする。

この覚書は、締結の日から実施することとし、有効期間は、締結の日から甲の当該年度末日までとする。

ただし、期間満了の日の1ヶ月以前に甲又は乙から変更の申し入れがないときは、この覚書は更新されたものとみなし、さらに1年間有効とする。その後も又、同様とする。

この覚書成立を証するため、本書2通を作成し、記名押印の上各自1通を保有する。

平成21年 6月17日

甲 社団法人 日本水道協会
専務理事

新園良彦



乙 全国管工事業協同組合連合会
会長

大澤規郎



参考 2

災害時における薬品の供給に関する協定【概要】 (薬品関係工業会)

1 趣旨・目的

公益社団法人日本水道協会(以下、「日水協」という。)は、地震、風水害、その他による災害発生時において、水道水の安定的な供給を確保するため、薬品供給に不安が生じないよう日本無機薬品協会(バンド・パック部会、活性炭部会)、硫酸協会、日本石灰協会及び日本ソーダ工業会(以下、「関係工業会」という)と相互に協力し、滞りなく薬品供給ができるよう連絡体制を整備した。

関係工業会	薬品名	協定締結日
日本無機薬品協会	バンド・パック部会 活性炭部会	平成 24 年 7 月 30 日
硫酸協会	硫酸	平成 24 年 6 月 7 日
日本石灰協会	消石灰	平成 24 年 6 月 13 日
日本ソーダ工業会	次亜塩素酸ナトリウム 水酸化ナトリウム 液化窒素	平成 24 年 10 月 1 日

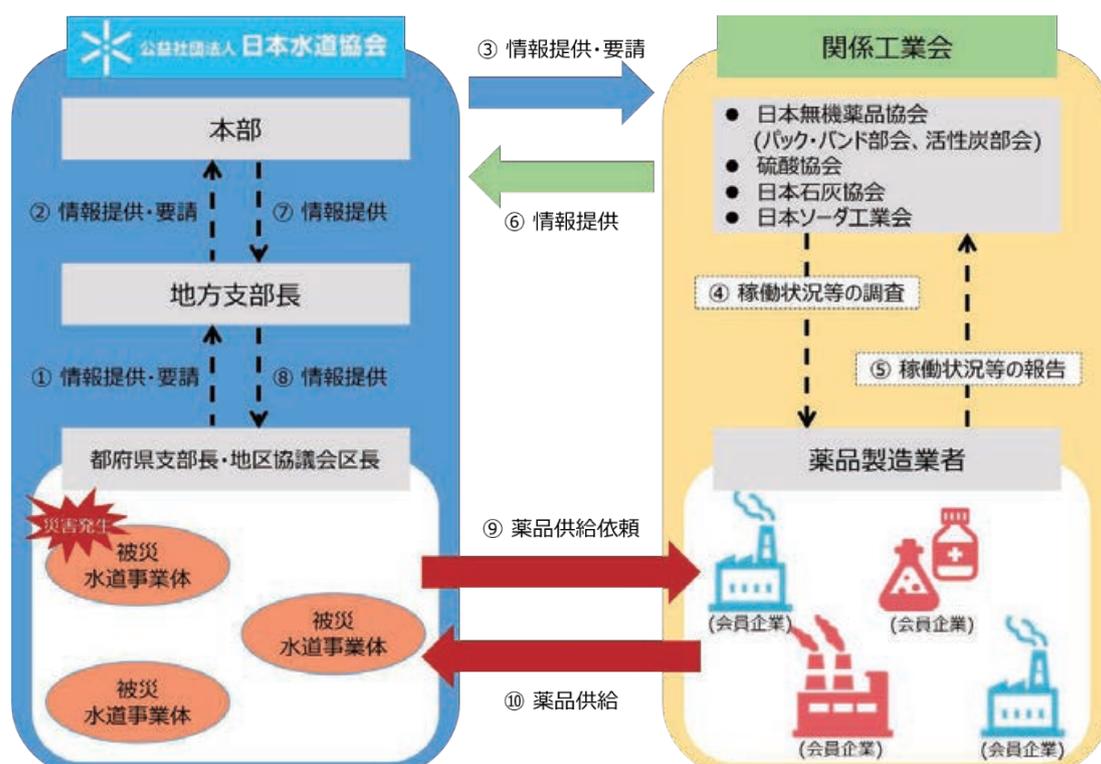
2 協定内容

- 水道用薬品供給に関する協力
- 水道用薬品製造工場の稼働・被災状況等の情報共有
- 水道用薬品の在庫(不足等)状況の情報共有
- ※日水協と関係工業会は、平時から相互に連絡先を確認するなど情報連絡体制を整えておくものとする。

3 費用負担

薬品の供給を依頼した水道事業者が、薬品を供給した関係工業会に所属する会員企業に対して負担する。

4 支援スキーム



参考 3

災害時における支援活動に関する協定【概要】 (独立行政法人水資源機構)

1 趣旨・目的

近年、地震・風水害・渇水等の災害が頻発し、今後も南海トラフ地震をはじめとする大規模災害の発生が危惧される中、災害発生時における、飲用水の確保、水道施設等の早期復旧を目的として、独立行政法人水資源機構と支援活動に関する協定を締結した。

本協定の締結により、日本水道協会の会員水道事業者が必要に応じて水資源機構に支援を要請できる枠組みを構築し、もって水道における災害対応の充実・強化を図る。

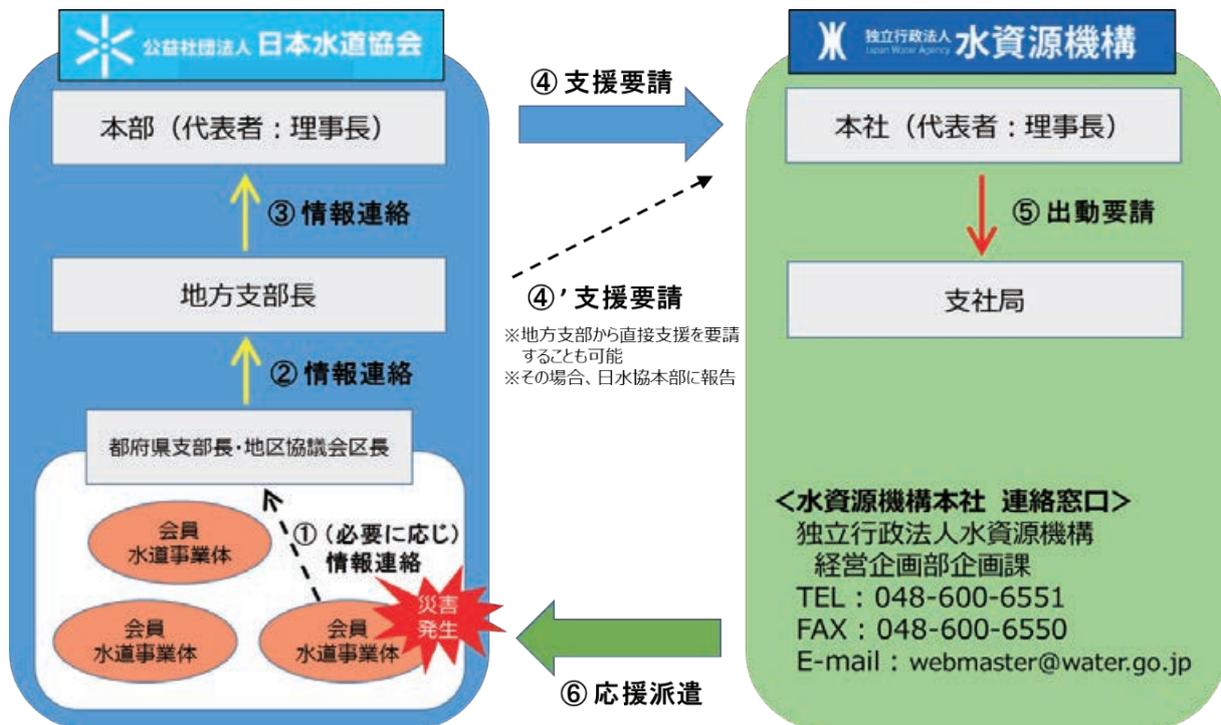
2 協定締結者

- 甲 公益社団法人日本水道協会（代表者：理事長 吉田 永）
 乙 独立行政法人水資源機構（代表者：理事長 金尾健司）
 [協定締結日] 平成 30 年 12 月 7 日（金）

3 支援内容

- 可搬式浄水装置を用いた給水活動
- 排水ポンプを用いた応急復旧活動（例：施設の浸水時における排水作業等）
- 水資源機構が保有する応急復旧用資機材の提供
- その他、特に支援要請のあった事項

4 支援スキーム



5 費用負担

- 支援に要した費用は、別途定める実施細目に区分に従い、支援を受けた被災水道事業者が負担する。
- 被災水道事業者が経費を支弁するいとまがない場合は、水資源機構が一時立替支弁するものとし、後日支援先の被災水道事業者体に請求する。

参考 4

災害時における宿泊施設の情報提供に関する協定【概要】 (全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会)

1 目的

地震、風水害、その他の災害発生時において、広域的な応援が必要とされる場合、公益社団法人日本水道協会（以下、「日水協」という。）は、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（以下、「全旅連」という。）に対し、被災地及び近隣地域における宿泊施設の営業状況等に関する情報の提供を要請するとともに、全旅連は当該情報の迅速な収集・提供を行うことをもって、日水協会員が応援活動を実施するに当たり必要とする宿泊場所の円滑な確保等に資することを目的とする。

【全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会】（全旅連）

全国 47 都道府県に存在する旅館ホテル生活衛生同業組合を会員とする全国組織。設立は昭和 33 年。平成 30 年 12 月時点での都道府県組合の組合員施設数は約 15,400 軒（旅館・ホテル等の施設を運営する者）。

2 協定締結者

- 甲 公益社団法人日本水道協会（代表者：理事長 吉田 永）
乙 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（代表者：会長 多田計介）
[協定締結日] 令和元年 6 月 17 日（月）

3 支援スキーム

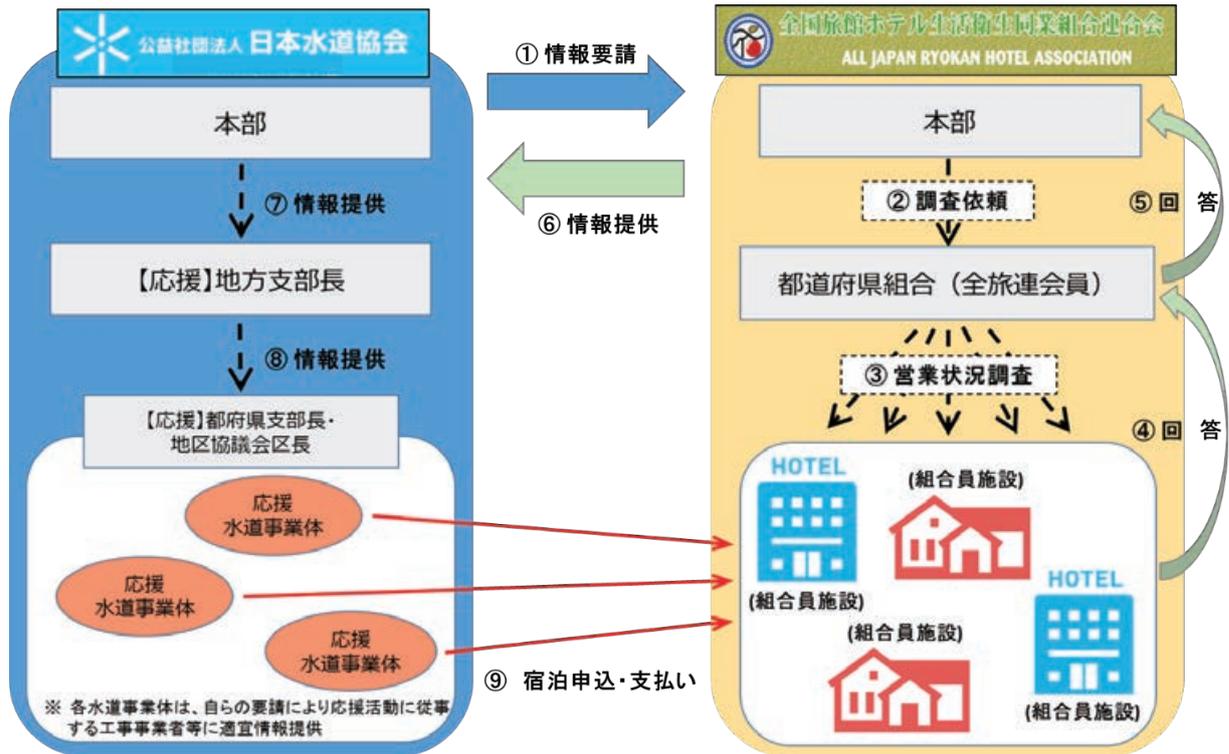
※＜ ＞内は実施細目の関連条項

- (1) 日水協（本部）は、会員が応援活動を実施するに当たり宿泊場所を必要とする場合、地域を指定して全旅連に情報提供を要請。＜第 2 条、第 3 条＞
- (2) 全旅連は、会員である都道府県組合と連携し、都道府県組合の組合員が所有する宿泊施設の営業状況について情報を収集し、「宿泊可能施設名簿」により日水協に対して情報を提供。＜第 4 条＞
- (3) 日水協（本部）は、上記名簿を応援地方支部長に情報提供し、応援地方支部長及び管下の都府県支部長等は、応援水道事業体に対して情報を提供。
- (4) 応援水道事業体は、宿泊施設に直接申込むとともに、当該施設と協議の上、宿泊費用（利用申込み後に取消した場合は、取消料を含む）を負担。＜第 6 条、第 8 条、第 9 条＞
- (5) 応援水道事業体は、自らの要請により応援活動に従事する工事事業者等に対し、必要に応じて上記名簿を情報提供（宿泊条件等は、水道事業体と同様）。＜第 10 条＞

※本協定が想定するケースは、広域的な応援が必要とされる場合（例：複数の地方支部による応援等）であることから、全旅連への要請は原則として本部からのみとする。

※本協定は、宿泊施設の営業状況等に関する情報提供を実施するものであり、宿泊施設の斡旋、優先的確保、宿泊の手配等を行うものではない。

4 イメージ



【考察】南海トラフ巨大地震への備え

日本水道協会が取りまとめた「地震等緊急時対応特別調査委員会応援体制検討小委員会報告書」（平成 29 年 2 月）によると、南海トラフ巨大地震が発生した場合、広域的かつ甚大な水道施設被害により、給水車の必要台数に対して応援台数が大幅に不足することが想定されている。

このため、各水道事業体においては、南海トラフ巨大地震発生時に備え、以下のような検討・取組をあらかじめ進めておくことが望ましい。

○南海トラフ巨大地震における応急給水活動の検討

例)・発災初期の応急給水先は、人命に関わる施設（病院・人工透析施設等）を優先するなど、あらかじめ給水対象施設を定めておく。

・拠点給水方式の場合は受水槽や仮設水槽を最大限活用し、給水車はできる限り水の運搬に限定するなど、効率的な給水方法により実施する。

○上記活動を前提とした応援要請内容の検討

例)・要請に当たっては、給水車の用途を考慮し、給水対象施設に応じてできる限り加圧方式・非加圧方式それぞれの必要台数を明示する。

○減災・防災に関わる対策の推進

- ・水道施設耐震化の推進
- ・移動式水槽（仮設水槽等）や応急給水設備（仮設給水栓等）の整備
- ・住民等への水の備蓄・くみ置き等の呼びかけ
- ・各自治体の災害対策本部並びに関係機関との連携強化 など

<参照>

「地震等緊急時対応特別調査委員会応援体制検討小委員会報告書」（平成 29 年 2 月日本水道協会）

「南海トラフ巨大地震対策《全国の水道事業体に向けた緊急提言》」（令和 2 年 1 月大都市水道局大規模災害対策検討会）